

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市橋リサイクルコミュニティセンター	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 テスコ株式会社 ・代表者名 小林 千尋 ・住所 東京都新宿区信濃町34番地	評価者	減量推進課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成25年度は平成24年度と比べると、再利用品展示・提供コーナーの利用者数は65名増の12,776人、会議室の利用者は20名減の756名等であり、総来館者数は33名増の14,875名であった。(橋リサイクルコミュニティセンター別紙資料参照)
収支実績	指定管理業務に係る収入については、セールの実施、アイテムを強化したほか、近隣のイベントの同日にリサイクルバザーを開催し、集客を図った結果、概ね平成25年度予算どおりの約1,822万円であった。また、自主事業に関する収入は平成25年度予算と比較して約1.2%少ない約184万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により、平成24年度の自主事業収入実績と比較して、約13.6%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、効果的な事業執行体制をとることによる人件費の抑制や、軽微な修繕を現場スタッフが対応することなどによる修繕費の縮減により、平成25年度予算に対し約5.4%少ない約1,806万円であった。このような経営努力の結果、指定管理業務及び自主事業に係る合計の収支は黒字を達成した。(橋リサイクルコミュニティセンター別紙資料参照)
サービス向上の取組	平成25年度は、川崎市の廃棄物削減施策にも考慮したトライアル事業として、牛乳パックから作る「竹とんぼ」の作成、「プラ容器分別ゲーム」を実施し好評を得たほか、平成21年度から引き続き、来館者が多い日曜日にリサイクル家具の抽選を行う等サービス向上の取組を行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。	8	4	6.4
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 幅広い利用者層からの意見が得られる時期を狙って利用者満足度調査を実施するなど、意見・要望の収集方法を工夫していた。また、調査の結果、広報の不足を指摘する意見があったことを踏まえ、のぼり旗を設置したり、地域の子供会と連携して教室のPRを実施するなど、利用者の意見を運営に反映するよう努めていた。このほか、事業成果の測定をするため、社内監査としてのモニタリングや事業目標達成に関するモニタリングチェックシートを用いた自己評価を行い、業務の履行、サービスの質の評価を行っていることは評価できる。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	11	4	8.8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	3	3	1.8
適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	3	3.6	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) 指定管理業務に係る収入については、近隣のイベントの同日にリサイクルバザーを開催し、PR活動に努めるなどした結果、概ね平成25年度予算どおりの約1,822万円であった。また、自主事業に関する収入は平成25年度予算と比較して約1.2%少ない約184万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により、平成24年度の自主事業収入実績と比較して、約13.6%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、効果的な事業執行体制をとることによる人件費の抑制や、軽微な修繕を現場スタッフが対応することなどによる修繕費の縮減により、平成25年度予算に対し約5.4%少ない約1,806万円であった。このような経営努力の結果、指定管理業務及び自主事業に係る合計の収支は黒字を達成しており、評価できる。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	6	4	4.8
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 3階フロアの機能強化として、本年度も引き続き見やすいレイアウトをテーマとした家具等の配置改善や、情報コーナーの見直し、常設フリーマーケットで陶器類の取扱いを拡充するなど、サービス利用促進への取組が行われていることは評価できる。また、利用者意見等により、施設のPRを課題と認識し、平成25年度は、施設PR用ののぼりを引き続き施設前に設置したほか、神奈川新聞、橋小学校の副読本への掲載や、地域子供会と連携して木工教室の開催をPRするなど利用者の意見を反映した改善を行っており、川崎市の廃棄物削減施策にも考慮したトライアル事業として、牛乳パックから作る「竹とんぼ」の作成、「プラ容器分別ゲーム」を実施した点も同様に評価できる。なお、平成21年度から引き続き、来館者が多い日曜日に合わせてリサイクル家具の抽選を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2
	(評価の理由) 平成25年度から自動体外式除細動器(AED)を設置し、上級救命講習の認定資格取得者の配置や自衛消防隊の編成、防災訓練の実施を引き続き行うなど利用者が安全に施設を利用するための取組に努めていることは評価できる。また、再生家具引き取り時における運搬作業への負担軽減を図るため運搬用特殊バンドを導入するなどスタッフの労働環境の向上についても取り組んでおり、月例の報告会議等の実施による連絡体制の確保、社内外研修等の実施によるスキルアップやコンプライアンスの遵守にも努めている。このほか、本市が開催した「川崎市一般廃棄物処理基本計画(かわさきチャレンジ・3R)行動計画改定案についての説明会」「プラスチックの分別勉強会」への出席や、グリーン購入を行うなど、環境配慮にも取り組んでいる。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 平成25年度からAED点検表の保守管理台帳が新たに加わったが、施設の保守管理や管理記録の整備保管を適切に行った。また、毎日行う日常清掃や定期清掃などにより、館内全ての居室や共用部の清掃業務を行ない、清潔さを保持しているほか、適切な警備業務や植栽管理、備品台帳の作成や棚卸しの実施等が行われている。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	71.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理業務に係る収入については、近隣のイベントの同日にリサイクルバザーを開催し、PR活動に努めるなどした結果、概ね平成25年度予算どおりの約1,822万円であった。また、自主事業に関する収入は平成25年度予算と比較して約1.2%少ない約184万円であったものの、常設フリーマーケットの拡充により、平成24年度の自主事業収入実績と比較して、約13.6%の増加がみられた。指定管理業務に係る支出については、効果的な事業執行体制をとることによる人件費の抑制や、軽微な修繕を現場スタッフが対応することなどによる修繕費の縮減により、平成25年度予算に対し約5.4%少ない約1,806万円であり、指定管理業務及び自主事業に係る合計の収支は黒字を達成した。平成25年度は、施設PR用ののぼりを引き続き施設前に設置したほか、神奈川新聞、橘小学校の副読本への掲載や、地域子供会と連携して木工教室の開催をPRするなど利用者の意見を反映した改善を行っており、川崎市の廃棄物削減施策にも考慮したトライアル事業として、牛乳パックから作る「竹とんぼ」の作成、「プラ容器分別ゲーム」を実施した点も同様に評価できる。また、平成25年度から自動体外式除細動器(AED)を設置し、上級救命講習の認定資格取得者の配置や自衛消防隊の編成、防災訓練の実施を引き続き行うなど利用者が安全に施設を利用するための取組に努めるとともに、再生家具引き取り時における運搬作業への負担軽減を図るため運搬用特殊バンドを導入するなどスタッフの労働環境の向上についても取り組んでいる点も評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

リサイクル家具類の展示・提供や廃食用油を使用した石鹸づくり、古布のリサイクルなどリサイクルの実践や様々な教室の開催や情報提供などを通して、リサイクルへの支援や環境学習を実施しているため、引き続き、施設の設置目的に即した運営を行うこと。平成25年度は、利用者の意見・要望を反映し、「10円セール」等テーマを決めて実施する古布のワゴンセールや、昨年度にトライアル事業として実施し好評だったミニぞうりストラップ教室を本格的に開始するなど、市民サービスの向上が図れていたため、平成26年度以降も引き続き実施すること。また、施設の更なるPRについても取り組むこと。

## 橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料

### 橘リサイクルコミュニティセンター利用者実績

単位:人

	H25 年度	H24 年度	増減	H23 年度 (参考)
再利用品展示・提供コーナー	12,776	12,711	65	14,300
学習室	242	195	47	239
実践コーナー	240	240	0	259
会議室	756	776	△20	773
施設見学等	861	920	△59	613
合計	14,875	14,842	33	16,184

	H25 年度	H24 年度	増減	H23 年度 (参考)	
家具類等出展数	480	480	0	480	
家具類入場者数	12,776	12,711	65	14,300	
家具類応募者総数	4,796	4,130	666	3,973	
内訳	家具類応募者数(来館)	4,235	3,543	692	5,384
	家具類応募者数 (インターネット)	561	587	△26	275
当選平均倍率	10.0	8.6	1.4	11.0	

※当選平均倍率とは、家具類応募者総数を家具類等出展数で除した数値です。

	H25 年度	H24 年度	増減	H23 年度 (参考)
古布類持込量(kg)	9,744	9,646	98	10,876
廃食用油持込量(L)	260	289	△29	315

### 橘リサイクルコミュニティセンター収支決算

単位:円

		H25 年度予算	H25 年度決算	H24 年度決算	増減額	増減率 (%)	H23 年度決算 (参考)
収入	①事業活動収入	18,403,715	18,221,356	18,372,822	△151,466	△0.8%	18,312,126
	指定管理料収入	17,964,915	17,964,915	18,055,750	△90,835	△0.5%	17,939,877
	利用料金収入	31,000	40,400	39,600	800	2.0%	31,900
	その他収入	407,800	216,041	277,472	△61,431	△22.1%	340,349
	②自主事業収入	1,860,000	1,837,930	1,618,235	219,695	13.6%	1,158,030
	合計 ①+②	20,263,715	20,059,286	19,991,057	68,229	0.3%	19,470,156
支出	③事業活動支出	19,094,000	18,055,169	19,019,383	△964,214	△5.1%	18,668,256
	④自主事業支出	1,100,000	1,081,761	969,976	111,785	11.5%	786,645
	合計 ③+④	20,194,000	19,136,930	19,989,359	△852,429	△4.3%	19,454,901
収支差額		69,715	922,356	1,698	920,658	54220.1%	15,255